

日本岩石鉱物鉱床学会 学会記事

日本岩石鉱物鉱床学会平成 14 年度第 3 回評議員会議事録

日時：平成 15 年 9 月 28 日(日)18:00～20:00

場所：仙台市戦災復興記念館（4 階 第 4 会議室）

出席者：荒井会長，小山内，田切，千葉，藤巻，松原，吉田，有馬，石渡，板谷，榎並，大谷，佐藤，谷口，土山，廣井各評議員(16 名)，中村庶務委員，土屋会計監事

欠席・委任状：小畑，鹿野，榊原，周藤，鈴木，西山，幢崎，平島，宮嶋，加藤，貴治，富樫，中川，林，宮下（15 名）

議 題

・報告，承認事項

1. 庶務報告
谷口庶務常務委員より，平成 14 年度中に総会 1 回，合同大会 1 回，評議員会 3 回，常務委員会 3 回を開催したことが報告された。
2. 編集報告
藤巻岩石鉱物科学編集委員長より
(1) 平成 15 年 9 月 28 日に第 1 回 JMPS 編集委員会，第 1 回合同「岩石鉱物科学」編集委員会を開催したとの報告があった。
(2) 9 月 24 日時点での編集状況報告が行われた（詳細は総会記事参照）。
3. 平成 14 年度総会に関する報告
谷口庶務常務委員より，平成 15 年 9 月 29 日（月）11：00 から行われる平成 14 年度総会の議題案が報告された。
4. 会員報告
平島会員常務委員代理吉田常務委員より平成 15 年 5 月 23 日～平成 15 年 9 月 24 日までの間について会員動静の報告があった。この間の入会は，正会員 2 名，大学院・学生会員 9 名，購読会員 3 件，復活 2 名であった。退会は，正会員 22 名，購読会員 2 件，不明者 8 名で，除籍が 23 名であった。
5. 行事報告
小山内行事常務委員より，2004 年地球惑星科学関連学会合同大会は 2004 年 5 月 9 日(日)～13 日(木)に幕張メッセ国際会議場において，平成 15 年度日本岩石鉱物鉱床学会総会並びに学術講演会は 2004 年 9 月 22 日(水)～9 月 24 日(金)に岡山大学 50 周年記念会館及び理学部で開催される予定との報告があった。
6. 平成 14 年度会計決算報告
大谷会計常務委員より，平成 14 年度会計決算について報告があった（後記第 1 表会計決算報告参照）。
7. 平成 14 年度会計監査報告
土屋会計監事より，平成 14 年度会計監査が行われ，帳簿類・会計内容ともに問題がないことが確認されたことが報告された。
8. 評議員選挙開票結果
谷口庶務常務委員より，平成 15 年度評議員選挙の開票結果について報告があった（後記総会記事参照）。

9. 学術会議および研連報告

石渡研連委員より，

- (1) 第 19 期日本学術会議会員に，地質学研究連絡委員会会員小松正幸氏と鉱物学研究連絡委員会会員山中高光氏（補欠；中澤弘基氏）
- (2) 第 19 期鉱物学研連委員会委員岩鉱学会推薦者に 1. 吉田武義 2. 有馬真 3. 大谷栄治 4. 榎並正樹 5. 石渡明 6. 平島崇男 7. 赤坂正秀
- (3) 第 19 期地球化学・宇宙化学研究連絡委員会委員岩鉱学会推薦者に中村栄三
- (4) 第 19 期地質学研連委員会委員推薦岩鉱学会推薦者に 1. 小山内康人 2. 廣井美邦
の各氏が決定したとの報告がされた。

10. その他

藤巻岩石鉱物科学編集委員長より，GKK 合同編集委員会における電子ジャーナル化への対応についての審議結果が報告された。また，JMPS 編集委員会からの次年から電子ジャーナル化して公開するという審議結果が報告され，承認された。

・審議事項

1. 平成 15 年予算案
大谷会計常務委員より，平成 15 年度予算案が諮られ，承認された（後記第 2 表会計予算を参照）。
2. 平成 15 年度会計監事の承認
谷口庶務常務委員より，平成 15 年度会計監事として土屋範芳（任期残 1 年），宮本 毅（新規 2 年）両会員の案が諮られ，承認された。
3. IMA2006 - Kobe 対応について
大谷常務委員より，IMA2006 - Kobe への対応についての報告がされた。
4. 奨励賞等問題検討委員会から
佐藤委員長より，審議の経過とまとめ（下記）について報告があった。
「5 月 28 日の評議員会で研究奨励賞審査委員会の板谷徹丸委員長から，当委員会の設置の提案があり，次の委員からなる当委員会の設置が認められた。荒井章司，有馬真，板谷徹丸，榎並正樹，大谷栄治，佐藤博明（委員長）。この委員会の審議は全てメールで行った。主な経過を挙げると，6 月 9 日に，委員長から，当委員会での検討内容についての提案があり，それについての議論・修正がおこなわれた。6 月 14 日に，委員長から，研究奨励賞および論文賞の表彰規定および内規の提案が行われた。その後，散発的に意見の交換があり，最終的に 9 月 23 日にほぼ委員全員の了解のもとに，評議会提案の内容が決定された。」引き続き，研究奨励賞の規定改定案・論文賞の規定案が諮られ，若干の修正の後，承認された。（後記参照）
5. その他
合同大会連絡委員の件についての掛川連絡委員意見（合同大会を円滑に運営するためには，連絡会 運営機構がある程度権限をもたないと動けない。連絡会がある程度，学会の権限を持った人である事が望ましい。評議員の一人が連絡委員になることを勧める。）が紹介され，若手会員を評議員に積極的に推薦する件などについて継続して検討することとなった。